

2015年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	インテリアデザイン						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	デザインコース:選択必修科目 建築工学コース:選択科目 建築コース:選択科目						
担当者	松本誠一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・家具類の設計・デザインに要する基礎知識や制作技術の内容を理解できる。 ・家具類の評価基準を保持でき、それらを具体的な設計に反映させることができる。 ・調査を通して椅子の構造・機能を具体的に検証し、最適なデザインを志向できる。 ・標準化の社会的意義を理解し、設計において標準化を志向することができる。 						
日程と内容	<p>第1回 導入講義 授業の進め方の概要と説明 成績評価の方法</p> <p style="text-align: right;">第2回 日本のインテリアデザインの歴史 (椅子座)</p> <p style="text-align: center;">第3回 椅子のモダンデザイン1 (20世紀に入ってから椅子のモダンデザイン)</p> <p style="text-align: center;">第4回 椅子のモダンデザイン2 (椅子の調査/機能・形態・材料)</p> <p style="text-align: right;">第5回 椅子のモダンデザイン3 (椅子の調査/機能と座り心地)</p> <p style="text-align: right;">第6回 バウハウスとモダンデザイン</p> <p style="text-align: center;">第7回 インテリアの人間工学1</p> <p style="text-align: center;">第8回 インテリアの人間工学2</p> <p style="text-align: right;">第9回 インテリアの人間工学3</p> <p style="text-align: center;">第10回 標準化の目的</p> <p style="text-align: center;">第11回 家具類の標準化1 (寸法)</p> <p style="text-align: right;">第12回 家具類の標準化2 (性能)</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	当初予定していた内容は、全て実施することができた。途中で受講を放棄した4人以外は到達目標を達成した。						
反省点	公開授業では、「優秀で関心の強い学生には少し学修の量が足りない気がする。」との指摘を受けた。来年度は、少し学修の量を増やしたい。						
来年度の計画	基本的には本年度と同様の内容は実施したいが、反省点の欄に記したように、若干程度学修の量を増やす予定。						
授業評価アンケートに対するコメント	記すべき自由記述の内容はなし。教員の授業評価は8.0。						
履修登録者数	38名	定期試験受験者数	34名	合格者数	34名	合格率	100%